

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2007-169647(P2007-169647A)

【公開日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-025

【出願番号】特願2006-343733(P2006-343733)

【国際特許分類】

C 0 9 K	11/80	(2006.01)
G 0 1 T	1/20	(2006.01)
C 0 4 B	35/44	(2006.01)
C 0 4 B	35/50	(2006.01)
C 0 9 K	11/08	(2006.01)
C 0 9 K	11/00	(2006.01)
A 6 1 B	6/00	(2006.01)
A 6 1 B	6/03	(2006.01)

【F I】

C 0 9 K	11/80	C P M
G 0 1 T	1/20	B
C 0 4 B	35/44	
C 0 4 B	35/50	
C 0 9 K	11/08	B
C 0 9 K	11/00	E
A 6 1 B	6/00	3 0 0 Q
A 6 1 B	6/03	3 2 0 S
G 0 1 T	1/20	E

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月18日(2009.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

焼鈍の前に焼結及び焼鈍を施し、式  $T_{b2.9489}L_{u0.05}Ce0.0051Ca0.005Al4.996O_{11.995}F_{0.005}$  を有するシンチレータ組成物。

【請求項2】

X線検出器アレイ(12)と共に形成するように、半導体検出器マトリクスに直接又は本質的に隣接して設けられる請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

約24時間にわたって1200で空気中で焼鈍される請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

焼鈍の前に、1725で焼結される請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれかのシンチレータ組成物を含む放射線検出器。